

令和3年度 事業報告

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

【 基本方針 】

森林・緑の持つ多様な機能を持続的に発揮させるために県内においても県民やボランティア団体、事業者などの民間団体等を中心に緑化活動や森林づくりなどの自発的な活動への関心が高まっている。

このため、令和3年度事業においては、県民の緑化活動への理解を深めるため、イベント、パンフレット、ラジオ、新聞による普及啓発に努めた。

また、県をはじめとする関係機関や団体と連携をとりながら森林ボランティア活動を支援し、県民協働のもとに広葉樹を中心とする里山などの森林づくりや、平坦地の緑化を推進した。

緑の募金運動の展開に当たっては、市町緑化推進協議会と連携を図り、県民を始め森林ボランティア団体、緑の少年団等広範な県民の協力を得ながら多様な募金活動を展開した。

【 会議等 】

1 理事会

(1) 第1回通常理事会

令和3年5月14日（木）佐賀県農林水産部内会議室において開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

議 題

- ① 令和2年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録（これらの関連附属書類を含む）について
- ② 令和3年度定時評議員会招集及び提出議題について
- ③ 緑の募金運営協議会委員の選任について

報告事項

- ① 役員の職務の執行状況について
- ② 基本財産の運用状況について
- ③ 理事の選任について

(2) 第2回通常理事会

令和4年2月2日（木）アバンセ会議室において開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

議 題

- ① 令和4年度事業計画及び収支予算について
- ② 緑の募金運営協議会委員の改選について
- ③ 令和4年評議員会の招集及び提出議案について

報告事項

- ① 役員の職務執行状況について

(3) 臨時理事会（書面による決議）

通常理事会の他、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び定款第39条第2項の規定に基づく書面決議を次のとおり開催し、理事全員の同意及び監事全員の確認を得て承認された。

① 令和3年8月20日（金）

・評議員会の招集及び決議事項（理事2名の選任）に関する件

2 評議員会

(1) 定時評議員会

令和3年6月2日（水）佐賀県農林水産部内会議室において開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

議 題

① 理事の選任について

② 評議員の選任について

③ 令和2年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録（これらの関連附属書類を含む）について

報告事項

① 令和2年度事業報告について

② 令和3年度事業計画及び収支予算について

(2) 臨時評議員会（書面による決議）

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条及び定款第23条の規定に基づく書面決議、報告を次のとおり開催し、評議員全員の同意を得て承認された。

① 令和3年9月10日（金）

・理事2名の選任について

3 緑の募金運営協議会

(1) 第1回運営協議会

令和3年7月30日（金）佐賀県農林水産部内会議室において開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

報告事項

① 令和2年度緑の募金事業報告及び収支決算について

② 令和2年度緑の基金助成事業実地検査の結果について

審査案件 令和3年度緑の基金助成事業について

(2) 第2回運営協議会

令和4年1月20日（木）佐賀県農林水産部内会議室において開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

議 題

第1号議案 令和4年度緑の募金事業計画及び収支予算について

【 公益事業 1（一般事業） 】

一般事業では、基本財産の運用収入、（公社）国土緑化推進機構等の助成金及び受取寄附金（緑化普及積立資産）等を財源として、以下の主要な事業を実施した。

1 緑の普及啓発事業 [決算額 1,723 千円]

(1) 普及啓発 [決算額 294 千円]

- ① 県民の緑化意識の高揚と県民参加の緑化運動を推進するため、ラジオ、新聞による情報発信を行った。緑あふれた地域づくりの気運の醸成を図るため、苗木などの普及資材を配布するとともに、緑化関係行事等にオンラインで参加した。
- ② 森林・緑に対する理解を深めるとともに緑化意識の高揚を図るため、学校関係者及び市町教育委員会などの協力を得て、（公社）国土緑化推進機構と連携し小・中学校、高等学校の児童、生徒や一般県民を対象に標語の募集を行い優秀者には知事賞を授与するとともに、当法人のホームページへの掲載を行い意識の高揚に努めた。
- また、優秀作品 10 点を国土緑化運動の審査会に推薦した。

○ 参加予定であった主な緑化関係行事等

【新型コロナウイルスの影響により、すべて縮小して開催されたため、現地には行かず欠席、一部オンラインで参加】

行 事 名	実施予定年月日	開催場所
第 7 1 回全国植樹祭	令和 3 年 5 月 3 0 日	島根県
全国緑の少年団活動発表大会	令和 3 年 1 0 月 9 日	北海道
第 4 4 回全国育樹祭	令和 3 年 1 0 月 1 0 日	北海道

(2) 新 1 年生記念樹配布 [決算額 117 千円]

新しく新 1 年生として入学する子供たちに、緑を育み大切にする心を育てるため、市町教育委員会と連携し、県下の小学校や特別支援学校等のうち希望する学校 2 5 校に 1 3 種 2 9 本の記念樹を配布した。

(3) よかウッドフェスタ [決算額 1,311 千円]

森林・緑は県民共通の財産として社会全体で守り育て、未来に引き継いでいくという意識を醸成し、県民協働による豊かな広葉樹の森林づくりを進めるため、佐賀県との共催によりどん³の森中央広場を会場に「よかウッドフェスタ」を令和 3 年 1 1 月 6 日（土）に開催した。

主な開催行事として、

- ・ 国土緑化運動の標語コンクール優秀者の表彰
- ・ 併催イベントとして、地元の郷土芸能の披露・餅配布、チェーンソーアートやふれあい木工工作などの森に関係した多彩な催しなどを行い、約 1.6 千人の参加者に森の恵みを活用したイベントで楽しんでもらうとともに緑化の推進を図った。

2 提案公募型緑づくり活動支援事業 [決算額 1,483 千円]

CSO等から企画提案された、森林環境学習会や木工教室の開催など企画提案された3事業を採択支援した。

- ・ 県産材を利用した木工教室及び森林環境学習会を開催することにより、地域の森林整備等への関心を高める活動を行う佐賀市の団体及び荒廃林の再生のための作業講習を行う鳥栖市の団体に助成することにより緑化の推進を図った。

3 緑と水の森林基金助成事業 [決算額 684 千円]

(1) 緑の探検学習会及び緑の少年団活動発表大会 [決算額 684 千円]

緑の少年団の自主性・協調性を養うとともに、自然や緑の大切さを理解し、環境美化や緑化活動に積極的に参加する心を培うため、よかウッドフェスタを活用し、佐賀市のどんだんどの森において緑の少年団探検学習会及び緑の少年団活動発表大会を開催した。

○ 緑の少年団探検学習会及び緑の少年団活動発表大会

日 時 令和3年11月6日(土)

会 場 佐賀市どんだんどの森、アバンセホール

参加者 緑の少年団、指導者等 70名

行 事 活動発表大会(地区代表5団)最優秀賞1団、優秀賞1団

体験活動 森のクラフト体験、葉っぱ探偵団

4 事業推進事務費等 [決算額 3,125 千円]

【公益事業 2（緑の募金事業）】

県民総参加による「緑の募金」運動を展開し、市町緑化推進協議会、ボランティア団体、緑の少年団等の協力により家庭募金、企業募金、学校募金、街頭募金を実施した。

募金目標額は51,000,000円としたところであるが、家庭募金や職場募金などで目標額を上回ったことから目標を達成することが出来た。

- 募金実績額：52,813,768円
- 運動期間 春：令和3年3月1日～ 5月31日
秋：令和3年9月1日～10月31日

1 緑の少年団等育成事業 [決算額 3,170 千円]

(1) 活動・交流支援 [決算額 3,107 千円]

緑を守り育てる心を養うことを目的に、年間を通じて様々な緑化活動を行っている緑の少年団に対し、日常の活動費への助成を行った。

また、県内の11地区に出向き、緑の少年団を対象として、地域の特性を生かした多様な緑化活動を行った。

- ① 開催日：令和3年9月～12月
- ② 開催回数：11回
- ③ 開催場所：県内小学校等11カ所
- ④ 参加団：12団
- ⑤ 参加者：232人

(2) 佐賀県緑の少年団連絡協議会助成 [決算額 63 千円]

県内の緑の少年団育成・交流事業や少年団指導者研修会開催等に要する経費に対し助成することにより、県内の緑の少年団の健全な育成、強化及び指導者の育成を図った。

2 緑化ボランティアの育成事業 [決算額 566 千円]

(1) 森林づくりボランティア団体等育成活動支援 [決算額 254 千円]

- ① 県内で様々な森林づくり活動を実施している「森林づくりボランティア」は、現在23団体の登録があり、このうち申請のあった6団体の活動に要する経費に助成した。
- ② 森林ボランティア団体の育成、活動を広げるために、森林ボランティアリーダーを育成する研修を実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、休止した。

(2) 親林交流指導員の派遣 [決算額 312 千円]

学校や公民館等で開催される環境教育、自然観察会など要請のあった学校、地域の団体等27団体の派遣要請に対し、基金に登録している親林交流指導員延べ35名を派遣・斡旋し緑化の普及を図った。

このうち、18団体について、講師謝金等を基金が負担した。

対象団体：小・中学校、放課後児童クラブ、公民館など

対象者：幼稚園児・小中学生・保護者、一般県民など 延べ782名

- 3 こだまの森林・緑づくり事業 [決算額 5,412 千円]
- (1) 緑の県土づくり活動支援 [決算額 3,909 千円]
- ① 地域のボランティアを中心に、広く参加者を募るなどして行う「シンボルの森、水源の森、海の森」などの森林づくり（植栽、下草刈り、枝打ち等）を行った団体、また平坦地、里山などにおける緑づくり（植栽、下草刈り等）を行い地域の環境整備を行った団体に対し助成することにより緑化の促進を図った。
- ② 県各地域で活動している「緑化・美化ボランティア」の登録団体（115団体）のうち申請のあった16団体に対し、苗木等の資材購入費を助成することにより緑化の促進を図った。（1団体20千円以内）
- (2) 民間団体等の緑化支援 [決算額 1,503 千円]
地域住民の交流促進を図るため、唐津市唐川公民館周辺にカワズザクラ70本を植樹した一般社団法人佐賀県造園建設業協会の取組に助成することにより緑化の促進を図った。
- (3) 国際緑化支援【新型コロナウイルスの影響により中止】 [決算額 0千円]
県内の青少年や国際交流団体等が海外において行う緑化事業に対して、緑化資材費等の助成を行うこととしていたが、新型コロナウイルスの影響により応募がなく中止した。
- 4 市町緑化の推進事業 [決算額 25,213 千円]
- ① 市町推進協議会がイベント等を通じて行った募金活動や植樹祭、各種行事での苗木等の配布などの普及啓発事業に助成を行うことにより緑化の促進を図った。
- ② 県内17市町の市町推進協議会や自治会等が行った地域の公園、街路、学校、公民館、社会福祉施設等公共的施設などの地域の緑化に対し助成を行うとともに県内の名木、古木の治療を行い保存維持に努めた事業に対し助成することにより緑化の促進を図った。
- 5 募金活動の推進事業 [決算額 7,327 千円]
緑の募金の周知徹底を図るため、新聞広告やラジオによる広報活動を行うとともに、ポスター、チラシの作成・配布等による普及啓発活動を行った。
また、官庁、企業等で職場募金として行う募金活動に必要な資材を購入し募金の拡大に努めた。
- 6 国土緑化推進機構交付金 [決算額 1,312 千円]
全国的な見地から行う森林の整備、緑化の推進及びこれらに係る国際協力並びに東日本大震災復興のための緑化事業を進めるため、(公社)国土緑化推進機構に対し、募金額に応じて交付した。
- 交付金=定額割額(250千円)+定率割額(当該年(暦年)の募金実績(千円)×2%)
- 7 事業推進事務費 [決算額 7,885 千円]